

寺田寅彦記念館パンフレットに見る「寺田邸復元略史」

宮 英司

高知市民権・文化財課発行のパンフレットから寺田邸復元の歴史を辿ってみた。様々な会が発足し、寺田寅彦先生の顕彰活動を推進してきたことが十分に伝わってきた。最後に、別枠で本会の発足と文学館の開館、そして銅像を建てる会の活動を取り出してみた。来るべき令和 10（2028）年の寺田寅彦生誕 150 周年記念事業へ向けての参考としたいものである。

昭和 20（1945）年 7 月

離れ（勉強部屋）を残して旧寺田邸戦災により焼失。

昭和 23（1948）年 2 月

寺田寅彦先生顕彰会が発足。長男の寺田東一氏から邸跡の寄贈を受ける。

昭和 24（1949）年

顕彰会が高知市へ土地を寄付する。（2 月）

顕彰会が西隣の別役家（寅彦の長姉の婚家）の建物を移築し、寺田寅彦記念館とする。（10 月）

昭和 42（1967）年 5 月

邸跡及び居室（勉強部屋）が高知市史跡となる。

昭和 43（1968）年

明治百年記念事業として寺田寅彦記念館建設構想が出される。

昭和 47（1972）年 1 月

記念館（付設、高知近代文学館）建設推進委員会発足。

昭和 48（1973）年 9 月

高知市文化財保護審議会から旧邸復元の方針が出される。

昭和 49（1974）年

推進委員会が寺田寅彦旧邸を復元する会へ移行。（3 月）

復元する会が募金活動を開始。（11 月）

昭和 51（1976）年

復元する会が高知市へ 1250 万円を寄付。（6 月）

高知市寺田寅彦旧邸復元基金条例を公布。（7 月）

茶室復元工事起工、翌年 7 月竣工。10 月に茶室開き。（11 月）

昭和 53（1978）年 7 月

寺田寅彦生誕 100 周年記念事業。寺田寅彦郷土随筆集の出版等の他、旧邸主屋の基本設計に取り組む。

昭和 58（1983）年 9 月

主屋復元工事起工、翌年 10 月竣工。

昭和 59（1984）年 11 月

高知市寺田寅彦記念館開館。

平成元（1989）年 10 月

居室（勉強部屋）改築工事起工、翌年 3 月竣工。

※ 寺田寅彦記念館友の会 平成 6（1994）年 発足

※ 高知県立文学館 平成 9（1997）年 開館（寺田寅彦記念室の設置）

* 寺田寅彦の銅像を建てる会 平成 26（2014）年から 4 年間の活動（2018 年 7 月 24 日除幕）